

平成26年度国立大雪青少年交流の家第3回施設業務運営委員会事業営部会議事要旨

日時：平成27年1月20日（火）13:30～15:30

場所：国立大雪青少年交流の家多目的室

運営委員出席者：笠井委員長，大島委員（部会長），山形委員，浜田委員，目黒委員，浪岡委員  
計6名

欠席者：永澤委員，坂東委員，植田委員

計3名

大雪青少年交流の家（事務局）

出席者：阿部所長，松浦事業推進室長，久保企画指導専門職，入江事業企画専門職員  
大畑事業推進室員

計5名

途中出席者：英企画指導専門職，平間事業企画専門職員

計2名

欠席者：伊藤企画指導専門職

計1名

【●事務局 ○部会長 □委員(長)】

●開会宣言

会議時間・資料確認，欠席委員の報告。

○以下部会長による進行

【議題1について】

●事務局

10月以降実施された4つの事業について報告したい。

(1) 「ゆーすフェスタ2014」について資料1を元に報告。

- ・ 来場者数 1412名 昨年よりも101名の増 天気も良く野外体験活動が良好であった。
- ・ 協賛は26団体、昨年から8団体の増。
- ・ ステージ発表とエンディングおかしまきが好評だった。エンディングは400名（体育館いっぱい）ほど参加。
- ・ 職員と協力団体との「前夜祭」が一体感を強めた。
- ・ 50周年にむけ、主に上川管内中心に更なる一体化をすすめたい。

□委員

ネイチャーウォークがとても有意義であった。

□委員

前年度よりも更に良くなっている。次回は今年度よりも多くの子供を南富良野から連れてきたい。

□委員

朝から見ていた。活動場所も多く、朝から終日楽しめた。親子連れにとってもよいので、今後も広報活動に力を入れていただきたい。

●事務局

食堂のワンコイン食事も好評いただいた。

○部会長

毎年の積み重ねで年々良くなっている。

□委員

一割近く増えているのはすばらしいこと。

○部会長

次年度は50周年事業の「プレ」にあたる大事な年。この事業を頑張ってもらいたい。

□委員

町としても盛り上がっていてありがたい。大変嬉しく思っている。

●事務局

(2) 「白金カップクロスカントリースキー記録会」について資料2を元に報告

- ・ 参加者小12、中16、高以上380 昨年度よりも87人増。韓国の選手も参加し、よい刺激になったようだ。
- ・ 変更点として小中学生参加者を先に実施し、後の競技を見られるよう配慮した。
- ・ 今後は小中学生の参加を増やしたい。大会のレベルも上がってきているようだ。

□委員

最近どこでもクロスカントリースキー記録会の参加者集めに苦慮しているようだ。その中でも90名弱増えたこの記録会は、価値あるものと思われているのではないかと。小中学生の参加者は美瑛町も苦慮しているが、協力していきたいと考えている。

●事務局

町道及び国有林道をお借りして大変お世話になっている。「年内に開催できる」体制を支えていただき、感謝している。

○部会長

次に繋がる事業に小学生のクロスカントリースキーがあると思うが、参加対象は違うのか。

●事務局

参加層はかなり異なる。本記録会はトップレベルの大学なども参加しており、大会のレベルアップには良いことであるが、それによって小中学生の参加が抑制されてしまう面もあるのだろう。

□委員

このコースは年内の提供か。

●事務局

コース自体は年明けも提供している。一部縮小するが、職員による維持管理を行っている。

●事務局

(3) 「あつまれ！びえいアスリートキッズ！！」について資料3を元に報告

- ・ 合計2回、体を動かす体験プログラムを実施した。
- ・ 定員を超える申込があり、どの希望者も一回は参加できるよう配慮した。
- ・ 剣道錬成会・旭川医科大学水泳部・食堂業者の協力を得た内容で、好評をいただいている。
- ・ 需要や反響が大いにあるため、年度内にも更なる特別企画事業（後述）を計画している。

□委員

美瑛町に体験の機会をいただけてありがたい。

●事務局

施設を利用していただきたい、北海道の体力向上、ボランティアの活用などがうまくかみあった。今後は更に近隣のエリアに拡大し喜んでもらえるようにしたい。

○部会長

低学年にねらいを絞ったのは意義があるとおもう。「親元を離れて」の体験はとても良いことだと感じた。

●事務局

(4) 「ユースオブワールド2014」について資料4を元に報告

- ・ 年に2回事業を実施。夏のプログラムと冬のプログラムに連続性を持たせている。
- ・ 第二回の事業部会の際にいただいた意見を反映（語学力が充分ではない学生に対する配慮については視覚に訴える工夫・参加者同士について体験活動を多分に取り込み交流できるプログラムを取り入れる工夫）シェア文化について学ぶ形で事業を実施した。
- ・ 交流ができた姿をみていただきたく、5分ほどの動画を作成している。委員の皆様にも御覧いただきたい。

## [動画発表]

- ・ 事業の効果については調査の結果を資料に入れているので確認いただきたい。
- ・ 来年度も委託申請を行う予定であるため、委員の皆様からの意見をいただきたい。

## □委員

報告書のページ数から察するに、手間をかけた事業内容であったように思う。

## ●事務局

通して体験活動により交流を深めたが、特に後半については留学生の語学力（日本語）の向上によってより交流がスムーズになり効果のあるものになったと思う。

## ○部会長

第二回目の事業内容についてアイヌ文化をコンセプトにしたのはすばらしい。国はオリンピックの開会式にアイヌ文化をとり入れる姿勢であると聞いている。外国の交流を目的としながらも日本人がアイヌ文化を学べる今回の機会はとても意義のあることと思う。ところで、事業を行う上で実際苦労したことはなにか。

## ●事務局

語学力に関しては高校生には少し難しかった面、及び事業以外での参加者の交流について一部難しい面もあった。ただ、ツールは英語だけではない。参加者にはコミュニケーションを学ぶ良い機会になったのではないかな。

## □委員

参加人数が適正であり、交流が深まったのではないかな。参加した外国人留学生からアイヌ文化についてどのような感想をもったか確認しておけばなおよかったのではと思う。留学生の中には雪を初めて見た人もいるだろう。アジア圏各国において日本観光の目玉の一つに雪があると聞いた。よい体験活動になったのではないかな。

## ○部会長

また次年度も採択されれば楽しみである。

## 【議題2について】

## ●事務局

(1) 「教育事業計画」に係り、「大雪冬のレクスポーツ祭典」について資料5を元に説明

- ・ 「子どもクロスカントリースキー教室」について開催要項案を提案。
- ・ スキーだけではなく、夜の部に天体観測を取り入れ、体験的な事業構成にした。
- ・ 同時開催「大雪スノーフェスタ」に一部合流する旨説明。
- ・ 「大雪スノーフェスタ」について開催要項案を提案。

- ・ 一般開放を行い、多くの方に参加してもらおう。
- ・ 日帰りプランと宿泊プランがあり、主に家族を対象にしている。
- ・ 近隣市町村幼稚園・保育所には直接広報を行う。
- ・ 委員におかれては各ブース運営の参画を依頼する。（永澤委員・坂東委員・植田委員）

○部会長

昨年の「クロスカントリースキー」部門の参加状況は、どのようだったか。

●事務局

クロスカントリー50名ほどで、一般開放の冬レクは100名ほど参加があった。

○部会長

宿泊と日帰りどちらに力を入れているか

●事務局

両方である。

○部会長

募集のチラシを作成する際、わかりやすくするためにも宿泊と日帰りのプランを分けて作成してみてもどうか。

□委員

平成26年度事業だが、27年に開催するので「2014」の表記については工夫が必要。

●事務局

感謝したい。いただいた意見は反映させる。

●事務局

(2) 「特別企画事業」に係り、「たいせつピリカキッズ(案)」について配布資料を元に説明。

- ・ 広報部会からの提案に基づき、利用促進・体力向上を目的に「アスリートキッズ」の続編事業として企画したい。
- ・ 「ひな祭り」をコンセプトに
- ・ 小学校1～3年生、30名程度、町内の子どもを対象にしている。
- ・ 制作活動、読書活動、体力向上、生活習慣の定着がねらい。

□委員

「ひな祭り」は「女性対象」になりがちであるが。

●事務局

女性参加に多少偏りがあることは想定される。

たしかに「ピリカ」はアイヌ語で「美しい」、主に女性に対して使われる形容詞でもある。だが桃の節句を男女関係なく児童が楽しむ学校もあるので、限定的にはしないようにしたい。

○部会長

同日は他の事業とバッティングせず、できるだけ参加者全員を体験させてあげてほしい。

□委員

「地元の教育」はとてもよいと思う。次年度以降も継続していくのであれば、「アスリートキッズ」同様、「あつまれ！！」をつけるなどしてネーミングの定着を意識してほしい。

□委員

更に「遊び」をテーマに盛り込んでいただければ幸いである。

#### 【議題3について】

●事務局

「教育事業・研修支援事業等自己点検・評価」に係り、資料6を元に説明。

- ・ 前回の部会でいただいた委員の意見を参考に、自己点検評価表内容・および項目数を精査済。

□委員

非常にわかりやすく、よい点検表だと思う。

●事務局

今の説明は中間評価となる。年度末に期末評価の確定作業を委員の方をお願いしたい。

#### 【議題4について】

●事務局

「平成27年度教育事業計画（案）」に係り、資料7を元に説明。

○委員

事業数は年々増えているのか

●事務局

国の施策として増えている。次年度は1事業追加となる。

□委員

貧困対策事業は今年初めてか。

●事務局

今回初めての事業である。年度途中から決定したもの。

○部会長

以上で議題を終了する。

●事務局

貴重な意見に感謝。議事録は修正の後、ホームページ上に公開予定。次回全体会議の施設業務運営委員会にて総括、開催は平成27年2月24日となり、平成27年度運営計画が決定する。

【その他補足】

□委員

十勝岳噴火レベル上昇の経緯として、御岳山の事件が大きな要因だが、美瑛町は「から騒ぎ」はしないようにしている。大学等の研究では十勝岳は問題ないとしているし、意見が分かれるが、災害も想定しつつも、慎重に動きたい。

美瑛町のジオパーク認定についても協議は進行中である。

白金模範牧場が町の所有となる。大雪の夏の事業等に是非活用していただきたい。

美瑛町職員に台湾からの女性留学生がいる。国際交流事業の際一助となれば良いと思う。

●事務局

(閉会宣言)